



# 横浜型地域貢献企業として

石井造園は平成20年に横浜型地域貢献企業の最上位認定を受け、24年に2回目の更新審査を受けて、再び最上級の認定を頂きました。次回更新に向けての弊社の取り組みを内部のシステム・外部での活動を内外両方の視点から紹介します。また弊社ホームページ (<http://www.jishi-zouen.co.jp>) やホームページ内のブログでもご紹介しておりますので併せてご覧ください。

## 社会貢献に関する取り組み

今年も苗木無料配布を行いました。今年度はCSR目標に掲げる500本を大きく超える1000本の苗木を配布する事が出来ました。自社で受注した公共工事の中で400本、イベントに参加して600本配布致しました。3年間で1000本の苗木を配布するという目標も達成することが出来ました。来年度も引き続き750本配布を目標に掲げております。苗木配布の際には是非お越しください。

中学生の職業体験では弊社の社員と共に作業を行いました。「働く事は何か」を考えてもらっています。中学生の職業体験では弊社の社員と共に作業を行いました。「働く事は何か」を考えてもらっています。



中学生の職業体験では弊社の社員と共に作業を行いました。「働く事は何か」を考えてもらっています。

## 環境に対する取り組み

石井造園は環境問題にも取り組んでいます。CSR方針に「緑を扱う者として地球環境の改善に貢献します」と掲げ、横浜市脱温暖化行動方針「CO2削減」(Carbon off) (二酸化炭素の削減) (行動) 30(%)に共感し、21車両の3台のうち1台をハイオクで運行し、自社の乗用車全台に急発進・急ブレーキをしないエコドライブを掲げていて事務所内の蛍光灯はLEDを導入しています。

また、ホームページ内には月ごとに水道水と電気の使用量、ガソリン、軽油の使用量(バイオディーゼルの除く)からCO2の排出量を掲げ、情報を公開すると同時に、自社内でも傾向と対策を考える為の資料として活用されています。

また、ホームページ内には月ごとに水道水と電気の使用量、ガソリン、軽油の使用量(バイオディーゼルの除く)からCO2の排出量を掲げ、情報を公開すると同時に、自社内でも傾向と対策を考える為の資料として活用されています。

## ワークライフバランスに関する取り組み

石井造園では就業規則も充実させています。育児・介護を行う従業員の時間外労働を一定時間以上しないように取り決めております。また弊社では有休取得率68%という高い数字をあげています。

## 情報公開に対する取り組み

弊社ではホームページ (<http://www.jishi-zouen.co.jp>) を公開しています。この中には会社概要はもちろんスタッフや施工実績、先に出た環境負荷報告等も掲載しております。弊社で行った工事の施工例や社員によるブログも公開し、普段あぐらページを作りました。皆様よりお問い合わせください。

石井造園のフェイスブックページを作り、いいね! やシェアを促しています。

## コンプライアンスと個人情報保護に関する取り組み

「横浜市造園協会」や「建設業災害防止協会」からの情報や、その改正に対応できるように努めています。また、個人情報保護に関する規定を策定し運用しています。毎月、社員同士で勉強会を開き、法令等の周知徹底を図っています。

## 日米桜交流百周年 シドモア桜植樹



1912年に日本から友好・親善のため、米国ワシントンDCに桜が寄贈されて百年となります。桜が植えられたポトマック河畔一帯は、その後世界的な桜の名所になりました。桜の寄贈に尽力したのは、当時横浜に滞在した米国人紀行作家のエライザ・R・シドモアさんと世界的科学者で実業家でもある高峰譲吉さんでした。この桜は、横浜港から渡来していきました。2012年にポトマック河畔の桜から採取した穂木を仕立てた苗木が、日本に144本贈られ、その内の貴重な1本が「シドモア桜」100周年・里帰りを喜ぶ市民の会の貢献により、桜区に贈られました。

## 年間1000本の苗木配布を実施



造園業として何が出来るか。地域の方々、また環境に対してどう貢献できるか。弊社では日々考えています。その中でも力を入れ、継続して活動しているのが「苗木配布」です。24年度は500本の苗木を配布する目標を立てましたが、年を終えてみると、目標を遙かに超えて、1000本の苗木を配布することができました。

# ついでに、無理なく、達成感のある活動

東京で活動をしている窓の御業者マックスさん、地元栄区のビルメンテナンス会社大村ササキさん、港南台の不動産屋三春情報センターさんの主催するイベントで弊社の得意とする間伐材を使ったルームプレート作りや苗木の配布を行いました。弊社の培ってきた技術や経験を他社のCSR活動とコラボレーションする事により、お互い優れた成果を生み出せました。



今年も仙台の仮設住宅に憩いの場。東日本大震災発生の日、後に弊社社長が南三陸町と気仙沼の被害状況を視察しました。その折、ソーケングループの有吉社長様よりご縁をいただき、以来仙台と長町の仮設住宅の皆様と交流をもたせて頂いております。



## CSR企業と連携して活動

また、活動の幅が増えて、異業種との顧客とシェアリングをする機会を得ました。弊社はまちの造園屋です。行える活動は企業規模に比べると少ないですが、コラボレーションする事で弊社の業を生かした活動は光を放つ事が出来たと思います。また、他企業の社員さんと思いを共有する事が出来ました。これからの連携して頂ける企業に感謝と尊敬の想いを抱きつつ、お互い楽しく活動してまいります。

「信頼」と「ネットワーク」で結ばれる豊かな市民生活の実現を目標に、本業・その他の活動を通じ、地域貢献の視点で雇用や環境などの事業活動に取り組んでいる企業や事業体を、一定の基準地域志向CSRマネジメント・システム規格のもとに「横浜型地域貢献企業」として認定し、その成長・発展を支援する事業です。

「横浜型地域貢献企業」はコンプライアンス(法令遵守)を最重要に挙げているが、地域貢献にも大きく目を向けています。(財横濱企業経営支援財団より)

企業が社会的責任(Corporate Social Responsibility)は企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任をもち、あらゆるステークホルダー(利害関係者・消費者・投資家等・社会全体)からの要求に対して適切な意思決定をすることをいいます。

はつきりと定義することは難しいですが、要するに「信頼」と「ネットワーク」で結ばれる豊かな市民生活の実現を目標に、本業・その他の活動を通じ、地域貢献の視点で雇用や環境などの事業活動に取り組んでいる企業や事業体を、一定の基準地域志向CSRマネジメント・システム規格のもとに「横浜型地域貢献企業」として認定し、その成長・発展を支援する事業です。

「横浜型地域貢献企業」はコンプライアンス(法令遵守)を最重要に挙げているが、地域貢献にも大きく目を向けています。(財横濱企業経営支援財団より)

企業が社会的責任(Corporate Social Responsibility)は企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任をもち、あらゆるステークホルダー(利害関係者・消費者・投資家等・社会全体)からの要求に対して適切な意思決定をすることをいいます。

はつきりと定義することは難しいですが、要するに「信頼」と「ネットワーク」で結ばれる豊かな市民生活の実現を目標に、本業・その他の活動を通じ、地域貢献の視点で雇用や環境などの事業活動に取り組んでいる企業や事業体を、一定の基準地域志向CSRマネジメント・システム規格のもとに「横浜型地域貢献企業」として認定し、その成長・発展を支援する事業です。

CSRとは?

企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)は企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任をもち、あらゆるステークホルダー(利害関係者・消費者・投資家等・社会全体)からの要求に対して適切な意思決定をすることをいいます。

はつきりと定義することは難しいですが、要するに「信頼」と「ネットワーク」で結ばれる豊かな市民生活の実現を目標に、本業・その他の活動を通じ、地域貢献の視点で雇用や環境などの事業活動に取り組んでいる企業や事業体を、一定の基準地域志向CSRマネジメント・システム規格のもとに「横浜型地域貢献企業」として認定し、その成長・発展を支援する事業です。